屋内消火栓消火設備　④

試験項目						種別・容量等の内容	結果
機能試験				収納状態		ホースリール式・折畳等収納式・その他	
	減圧措置					減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁	
	加圧送水装置試験	ポンプを用いるもの	呼水装置作動試験	減水警報装置作動状況		底面からの高さ　cm	
				自動給水装置作動状況		―――	
				呼水槽からの水の補給状況		―――	
			制御装置試験	起動・停止操作時の状況等		―――	
				電源切替時の運転状況		―――	
			起動装置試験・ポンプ始動表示試験	ポンプの起動状況等		―――	
				始動表示の点灯状況			
				起動用水圧開閉装置の作動圧力		設定圧力　MPa 作動圧力　MPa	
			ポンプ試験	運転状況		―――	
				※締切り運転時の状況	締切揚程	m	
					電圧	V	
					電流	A	
				※定格負荷運転時の状況	定格揚程	m	
					電圧	V	
					電流	A	
			※水温上昇防止装置試験			逃し水量　ℓ/min	
			※ポンプ性能試験装置試験			表示値の差　ℓ	
		高架水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況		―――	
			静水圧測定			最下位　m　最上位　m	
		圧力水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況		―――	
				自動加圧装置作動状況		―――	
			静水圧測定			最下位　MPa　最上位　MPa	
	配管耐圧試験					試験圧力　MPa	
総合試験	放水試験	―――	消火栓番号	放水圧力	放水量		—
		同時放水試験		MPa	ℓ/min		
				MPa	ℓ/min		
		個別		MPa	ℓ/min		

屋内消火栓消火設備　⑤

試験項目			種別・容量等の内容	結果
総合試験	操作性試験（易操作性１号・２号消火栓）		ホースリール式・折畳等収納式	
	非常電源切替装置	自家発電設備	―――	
		蓄電池設備	―――	
		燃料電池設備	―――	
備考				

備考１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
３　Ａは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Ｂは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したもの及びＣはＡ及びＢ以外のものをいう。
４　※印の試験は、「加圧送水装置の基準」（平成９年消防庁告示第８号）に適合している旨の表示が付されているものにあっては、省略することができる。
５　結果の欄には、良否を記入すること。
６　非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
７　操作盤が設けられているものにあっては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。